学校番号	119

平成 31 年度　芸術科(書道)

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「書Ⅱ」（光村図書出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・一年次同様、単元ごとの目標設定とふり返り(自己評価)を行い、主体的な取り組みを支援します。
・書の歴史と文化を知り、より多様な表現とより深い鑑賞を行います。作品制作を通して更に大きな創作の喜びを味わいましょう。
・生活の中に書を活かすという視点も取り入れて、百人一首のかるた制作や刻字、実用の書も学びます。

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の体験を豊かにし、書の伝統と文化についての理解を深め、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを深く感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、創造的で効果的な表現を工夫している。	創造的で効果的な書表現をするために、幅広く能力を生かし、より効果的な表現の技能を身につけ表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について、多様な視点から分析し理解して、その価値を考え、書のよさや美しさを多様な視点から創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	仮名作品の制作	・百人一首かるた作り(一人一首制作) ・百人一首大会	○	○	○	○	a:仮名の美とその表現技法について関心をもち、百人一首の表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:読み札と取り札の基本的な書式を理解し、表現を工夫している。 c:かるたの定型を生かした仮名での表現方法を身につけ表している。 d:百人一首に興味をもち、全学年分を集めて百人一首大会を実施し、日本の伝統文化を体験する。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
	漢字(五書体の学習から作品制作へ)表具	・五書体の学習 ・正式書体と略式書体 ・五書体より一書体を選び漢字作品制作 ・漢字作品表具 ・相互鑑賞会	○	○		○	a:五書体(楷書・行書・草書・隷書・篆書)の美とその表現技法について関心をもち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:各書体の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 c:逆筆と順筆、筆の弾力を利用する用筆方法を身につけ表している。 d:文字の成り立ちに興味を持ち、代表的な五書体の古典を知り、そのよさや美しさを味わっている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
2学期	硬筆	・行書、草書、葉書き・手紙・履歴書の書き方	○	○			a:書道の基礎的能力を身につけその向上に努め主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。 b:書道で身につけた基礎的な能力を生かして表現を工夫している。 c:書道で身につけた基礎的な技能を生かして表現している。 d:日常生活の硬筆の書の効用について理解し、そのよさを味わっている。	観察 提出作品
	刻字	・刻字作品制作		○	○	○	a:刻字に興味をもち、意欲的に取り組んでいる。 b:毛筆の味わいを残しながら草稿を作り、彫刻刀での運刀ができるように工夫している。 c:刻字の準備と手順について理解し、刻すことができる。 d:刻字の意義や手順について理解している。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

3学期	生活の中の書	・年賀状 ・ペン字 ・金封、のし袋の表書き	○		○	○	a:書道で学習したことをくらしの中に生かそうとしている。 b:書道の学習で身につけたことを生かして、くらしの中に書を生かす工夫をしている。 c:書道の学習で身につけたことを生かし、くらしの中に書を生かすことができる。 d:書道の学習で身につけたことが、くらしの中に生かされていることを理解している。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
	漢字仮名交じりの書の学習	・自由制作 ・相互鑑賞会	○	○	○	○	a:自己の意図に基づき、様々な表現を試みることに、意欲的に取り組んでいる。 b:感興や意図に応じた表現を構想し、工夫している。 c:感興や意図に応じた表現を構想し、工夫している。 d:用具・用材の用い方や構成の工夫などにより、様々な表現が可能であることを理解している。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫

c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。